

全国健康保険協会大阪支部 令和3年度 第4回評議会における ジェネリック医薬品にかかる講演について

講演日時:2022年3月22日(火) 14:30 ~ 16:30

形 式:WEB研修会

テ ー マ :ジェネリック医薬品にかかる現状説明・課題

ジェネリック医薬品にかかる直近の話題 等

講 師:田中 俊幸(日本ジェネリック製薬協会 政策委員会政策実務委員長兼広報委員長)

概 要: 全国健康保険協会大阪支部評議会において、評議員および大阪支部職員の皆さまに当協会の取組みについて説明いたしました。

(講演実施後にいただいたご意見)

- ジェネリック医薬品というのは、どの部分で価格が安くなっていくのか教えて頂きたい。
- 製造販売承認書と製造実態の齟齬が生じている、という話をお聞きしたが、具体的にどういう事例かを教えて欲しい。
- 医薬品について素人なのだが質問させていただく。P.4(日本ジェネリック製薬協会 会員会社の頁)にて正会員38社、国内のジェネリック医薬品の約4分の3をカバーとある。各会員会社はGE薬協に任意で加盟されているということか。P.14(ジェネリック医薬品に対する信頼の回復に向けた協会としての取組み)の取組みの個所に協会外の会社にも呼び掛けるとあったので、38社以外にもどの位の会社があるのかを確認したかった。
- ジェネリック医薬品は一般業とは違うと思うが、ジェネリック医薬品を使うことで協会さんの収益が上がっているのかと見てしまう。今後の業界の将来の市場動向をどう予測しているのか？そして今後の設備投資等の予定などをご存知であれば、教えて頂きたい。